

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	千曲市環境フェア実施事業 ～みんなできくを出して環境をよくしよう 千曲市環境基本計画10年の成果と今後への取組～
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人千曲市環境市民会議
事業区分	5. 環境保全・景観形成に関する事業、3. 教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	761,230 円 (うち支援金: 570,000円)

事業内容

市環境基本計画の更新に合わせ、これまでの取組と成果を広く市民に周知し、自らも環境のためにできることを始め、続けてもらうきっかけとして環境フェアを実施する。

環境フェアでは、当会の取組内容等成果をパネルで掲示したり、エコクラフトや段ボールコンポスト等のワークショップ、エコドライブやプラネタリウム等体験活動を実施。行動のきっかけとして影響力の大きい者(県副知事)の講演会を実施。ふるさとの環境を未来へ、という願いを若い市出身のアーティストたちにも作品でメッセージを表してもらい、そのことでより多くの市民にみんなで将来によい環境を残そうという意図が伝わった。



【県副知事の講演会】

【目標・ねらい】

- ① 2次計画の周知
- ② 小さな取組の継続の成果周知
- ③ 多数による環境保全行動促進
- ④ 環境保全意識啓発

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

約300名の参加者があり、当日は、多くの人に「将来に千曲市の環境を残そう」というメッセージを届けることができた。副知事講演会をはじめたくさんのブースを設置し、いろいろな体験をすることで、来場者のみなさんに満足していただくことができた。また、自己宣言カードを出していただいたことで、これを集計すると、マイバッグ等日常生活の中では、きっかけがあれば環境配慮行動に移ることができるが、自然環境など、そのサイトまで行かないとできないことはなかなか難しいことも分かった。さらに、集計結果を後日報告することで、環境保全活動の定着についてアウトリーチを図ることができた。

※自己評価【A】

【理由】環境フェアという催しだけで300名という参加目標を達成し、また、取り組みカードという自己宣言をしてもらったことにより、フェア当日のみではなく、多くの市民が継続した環境保全への取組と定着を促すことができた。さらに、基本計画を広く周知することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

参加者が自己宣言カードに記入した名簿をもとに今回の結果報告をする。多くの人自己宣言した項目や、それを一人一人が取り組むことによりどんな成果が上がるか、などをチラシにまとめ、送付して環境配慮行動を定着する。今回出展協力いただいた団体と協力体制を強め、横断的に環境にとりくむつながりを広げる。2次計画についても目標に向けた取り組みを続ける。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある